

当事者参画による

ユニバーサルデザインシンポジウム

日時 2018年1月19日(金) 13時から16時
場所 名古屋都市センター 14階 特別会議室
定員 100名程度(先着順)
参加費 500円

主催 愛知県重度障害者団体連絡協議会 共催 日本福祉のまちづくり学会東海北陸支部
平成29年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



「誰もが利用しやすい名古屋駅」をめざす上で、障害者権利条約に基づく移動権の考え方や、IPC バリアフリーガイドライン、TOKYO2020 など世界が求める整備基準、他地域の先進事例との比較を通して、障害当事者がハード、ソフト両面にわたり提言をできる力をつけることが重要です。本シンポジウムでは、当事者参画によるユニバーサルデザインを実現するには何が求められるかを、ともに考えます。

～誰もが利用しやすい名古屋駅をめざして～

基調講演

講師：磯部友彦 氏（中部大学教授）

演題：名古屋駅の成り立ちと名古屋駅ユニバーサルデザインの課題

パネルディスカッション

テーマ：当事者参画によるユニバーサルデザインをめざして

パネラー：川内美彦 氏（東洋大学 教授）

…障害者権利条約、障害者差別解消法と移動権

今西正義 氏（DPI 日本会議バリアフリー担当顧問）

…IPCアクセシビリティガイドとUD2020 関係府省等連絡会議の動向

辻直哉 氏（愛知県重度障害者団体連絡協議会 副会長）

…愛知県の当事者運動とこれから

コーディネーター：磯部友彦 氏（中部大学教授）